# 奔薨生訪問



本校では、卒業後3年までの生徒を対象に卒業生訪問を実施しています。高等部の教員が卒業生の職場を訪問し、支援方法をお伝えしたり職場の方からお話を伺ったりすることをとおして、生徒および卒業生の支援に役立てたいと考えています。今回、昨年度の卒業生が元気に過ごしている姿やがんばっている様子を伺ってくることができましたので、訪問担当者から卒業生保護者への報告書を紹介させていただきます。

## 敦賀ワークス(就労継続支援B型) Aさん

その日の作業はふりかけ用昆布の計量をされていました。担当の方にお伺いしましたら、細かい作業を好んでおられるとのことでした。特にシーラーの作業はきれいに 仕上げることができるとのことでした。

少しずつ環境に慣れてきて、特定の職員の方に声かけをし、コミュニケーションを とることができているようです。昼食のスタートは少し時間がかかるようでしたが、 Aさんのルーティンとして自然と共有されているようで、ワークスの一員としてな じんでおられる気がしました。

## パナソニックオートモーティブシステムズ(一般企業) Bさん

入社後の様子を伺いました。横浜と枚方の長期研修では、パソコンを使用してプレゼンテーションの技能を高めたことや、はんだ付けやプログラミングの実技講習を経験したことをお聞きしました。現在は、敦賀において製造課に所属し、ハッドという車の部品を製造しているそうです。組み立ての工程では、新たなことを次々覚え、仕事の楽しさを感じながら取り組めているとのことでした。

職場の同僚の方からは、大変まじめで、作業手順をしっかり覚えながら作業に取り 組んでいること、今後はより手早く製造していくことを目指し、最終的には後輩に仕 事を教えられるような成長を期待していると話を伺いました。

## はこべの家(生活介護) Cさん

訪問した日の午後の作業は「箸入れ」でした。慣れた手つきでスムーズに箸を袋に入れ、テープをはがして封をしていました。在学中には難しくてできなかったことも上達していたので感心しました。

職員の方からお聞きしたのですが、作業内容は、箸入れ、新聞ちぎり、シュレッダー、クッション作りなどがあり、難しい作業でも取り組んでいるそうです。作業の合間には、配達に同行したり散歩に出かけたりして気分転換をすることで、一日を通して作業を続けることができているとのことでした。また周りの様子をよく見ていて、いろいろな手伝いをしてくれるので、他の利用者さんからとても喜ばれているそうです

## 令和7年10月より

## 就勞選択支援

## が始まります!

## 就労選択支援とは?

就労選択支援とは、障害者本人が就労先・働き方についてよりよい選択ができるよう、 就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性などに合った選択を支援 する新たなサービスです。

メリット:本人が本来もっている就労の可能性を知ることができ、選択肢の幅を広げることが可能になります。

## 対象となる利用者は?

サービス類型		新たに利用する意向がある者	既に利用しており、 支給決定の更新を行う者
就労継続支援A型		令和9年4月から原則	
就労継続 支援B型	50歳に達している者 障害基礎年金1級受給者 就労経験を有する者	希望に応じて	希望に応じて
	上記以外の者 (現行のアセスメント対象者)	令和7年10月から原則	
就労移行支援		希望に応じて	令和9年4月から原則 (一部対象外)

→つまり、高等部3年生で卒業後B型就労を希望する人、高等部1・2年生で卒業後A型またはB型就労を希望する人は、在学中に就労選択支援を受けることになります。

## 就労選択支援の流れと内容

- ① アセスメントの実施
- ・面談、作業体験、観察などを通じて「何が得意か」「どのような配慮が必要か」 「どのような働き方を希望しているか」などを整理
- ・アセスメントは原則1か月(最大2か月)以内で完了
- ② 関係機関との連携(多機関連携会議)
- ・本人、家族、支援者、相談支援専門員などが集まり、アセスメント結果をもとに今後の 方針を話し合い
- ③ 「アセスメントシート」の作成
- ・本人と事業所が協働でまとめた評価・分析結果をシートに集約
- ・シートは、今後の就労支援サービスの選定や支援計画の基礎資料になる
- ③ 適切なサービス選択・接続支援
- ・アセスメントの結果を受け、自らの長所や課題を整理し、その後の学校生活や就労に つなげていく

## 本校における就労選択支援の進め方

進路学習や現場実習、懇談などをとおして就労選択支援を受けるかどうかを生徒・保護者の 皆さんと相談し、日程や手続きについて案内させていただきます。

#### 参考 厚生労働省「就労選択支援実施マニュアル」